

# 当署管内の死亡労働災害概要（平成元年～）【製造業】

日立労働基準監督署

| 番号 | 発 生 時<br>日 時              | 職 種<br>性別・年齢<br>経験年数     | 事業の種類           | 事故の型<br>起因物            | 災害の概要と原因                                                                                                                                            | 対 策                                                                                                                             |
|----|---------------------------|--------------------------|-----------------|------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | H1.5.29<br>(月)            | 事務員<br>女・50歳代<br>経験20年   | 一般機械器<br>具製造業   | 挟まれ・巻<br>き込まれ<br>乗用車   | 工場内駐車場に止めてあった乗用車の窓(パワーウインドウ)を閉めようとしてエンジンキーを回したところ、乗用車が後退し、右前輪に巻き込まれた。                                                                               | ・マニュアルトランスミッション(MT)車は、始動時の誤発進防止のため、運転席に座り、クラッチペダルを踏んでギアをニュートラル位置にしてからエンジンをスタートさせること。(平成11年7月、2tトラック等を除き、MT車のクラッチスタートシステム装備義務化。) |
| 2  | H2.8.21<br>(火)            | オペレーター<br>男・20歳代<br>経験5年 | 電気機械器<br>具製造業   | 挟まれ・巻<br>き込まれ<br>クレーン  | フォークリフトを用いて荷の運搬作業中、照明用スイッチに接触して壊してしまったため、修理しようとして天井クレーンの点検歩道に通じる階段を登っていたところ、走行してきたクレーンと階段との間に胸部を挟まれた。                                               |                                                                                                                                 |
| 3  | H3.1.6<br>(日)<br>10:30    | 事務員<br>男・40歳代<br>経験17年   | 窯業・土石<br>製品製造業  | 挟まれ・巻<br>き込まれ<br>トラック  | 製品置場において、工場から運ばれてきた製品(ヒューム管)の受入れ作業を行っていたところ、荷降ろしを終えた4tトラックが方向転換し、後退してきたことに気づかず轢かれた。                                                                 | ・荷降作業場内に安全通路を設けること。<br>・荷降作業の監視者を、トラックの運行範囲内に立ち入らせないこと。<br>作業開始前に運行経路、作業方法等を協議し、安全確保を徹底すること。                                    |
| 4  | H5.11.9<br>(火)<br>10:50   | 調理員<br>男・40歳代<br>経験 年    | 食料品製造<br>業      | 交通事故<br>乗用車            | ワゴン車で弁当を配達中、交差点で信号を無視して進入してきた乗用車に側面から衝突され、さらにガードレールに運転席より激突した。                                                                                      |                                                                                                                                 |
| 5  | H6.1.24<br>(月)<br>11:05   | 製缶工<br>男・40歳代<br>経験10年   | 金属製品製<br>造業     | 激突され<br>荷              | 構内において、積載型トラッククレーンで搬入した軽量鉄骨(長さ10m、1本当り40kg、30本束)を、被災者がトラック荷台上で天井クレーン(床上操作式、つり上げ荷重5t)を操作し、玉掛けてつり上げようとしたところ、軽量鉄骨が滑り出して腰を激突され、車外に転落した。無資格で玉掛作業に従事していた。 | ・あだ巻き掛け(2重巻)等、つり荷が滑らない玉掛け方法を講じること。<br>・有資格者に玉掛作業を行わせること。                                                                        |
| 6  | H6.8.27<br>(土)<br>11:40   | 職 長<br>男・40歳代<br>経験16年   | 鉄鋼業             | 挟まれ<br>材 料             | 天井クレーン2台で金属製箱(重さ770kg)をつり上げたところ、玉掛け用ワイヤロープの一端が外れ、つっていた箱が落下し、その下で作業をしていた被災者が頭部を挟まれた。                                                                 | ・クレーンのつり荷の下方に作業者を立入らせないこと。<br>・玉掛け作業方法、作業手順の改善を図ること。                                                                            |
| 7  | H7.1.20<br>(金)<br>8:55    | 電 工<br>男性・30歳代<br>経験13年  | 電気機械器<br>具製造業   | 感 電<br>その他の設<br>備      | 制御盤の出荷検査作業に従事していた。電源を遮断し制御盤の端子に仮設の配線を接続しようとした時、検査用仮設電源(三相交流400v)の露出部に接触して感電した。                                                                      | ・停電作業を行うときは、分電盤を施錠する等の措置を講ずること。<br>・作業を行う前に露出部が充電されていないことを確認すること。                                                               |
| 8  | H8.2.8<br>(木)<br>9:00     | 指導員<br>男40歳代<br>経験26年    | 電気機械器<br>具製造業   | 交通事故<br>乗用車            | 水力発電所の指導員として海外出張中、現場での業務を終え、乗用車を運転してアパートに戻る途中、黄信号で交差点を走行している時、赤信号で進入してきた乗用車に運転席側面に衝突され死亡した。                                                         |                                                                                                                                 |
| 9  | H10.3.19<br>(木)<br>16:30  | 成形工<br>男・20歳代<br>経験3ヶ月   | セメント・同<br>製品製造業 | はさまれ<br>その他の一般動力機械     | コンクリートブロックの成型ラインにおいて清掃作業中、他の作業者が成型ラインを起動させたため、コンベアと材料供給容器との間に胸部を挟まれた。                                                                               | ・成型ラインの清掃を行っていることが外部に分かるようにバトライトを設置すること。<br>・清掃作業を行うときに、ホッパーを後ろに下げるとスイッチが外れ電源が切れるようにすること。<br>・作業マニュアルを作成すること。                   |
| 10 | H11.2.3<br>(水)<br>10:45   | 作業員<br>男・60歳代<br>経験6年    | 一般機械器<br>具製造業   | はさまれ・巻<br>き込まれ<br>ボール盤 | ボール盤を使用してステンレス鋼板の穴あけ作業中、ノギスで鋼板を測ろうとしたとき、右手にしていた軍手ごと、回転するドリルに巻き込まれた。                                                                                 | ・ボール盤の作業をさせるときは、手袋を使用させないこと。                                                                                                    |
| 11 | H12. 1.28<br>(金)<br>17:20 | 技術員<br>男・40歳代<br>経験21年   | 電気機械器<br>具製造業   | 感 電<br>送配電線等           | 真空遮断機の開閉能力試験を実施後、配線を撤去するために接続部に接近又は接触したところ、コンデンサの残留電圧(約1万ボルト)により感電した。、配線の撤去作業前に、試験回路中のコンデンサの残留電荷を放電せず、また検電、接地を行わなかった。                               | ・停電作業を行うときは、残留電荷を確実に放電させること。<br>・停電作業開始前に、検電器具を用いて停電及び放電を確認すること。                                                                |
| 12 | H12.9.15<br>(金)<br>15:41  | 電機工<br>男・30歳代<br>経験15年   | パルプ・紙<br>製造業    | 感 電<br>その他の電<br>気設備    | 天井走行クレーンの定期自主検査を実施中、配電盤の配線(パイロットランプ用200V)の端部がこめかみ付近に接触して感電した。作業開始前に、作業指揮者が停電を確認しなかった。並列のクレーンを稼働させるため、走行トロリー線の電源を落としていなかった。                          | ・停電作業を行うときは、作業指揮者に停電を確認させた後に、作業開始を指示すること。<br>・接触のおそれのある隣接クレーンの運転を停止し、走行トロリー線の電源を落としてから点検を行うこと。                                  |
| 13 | H16.9.28<br>(火)<br>20:54  | 技術者<br>男・30歳代<br>経験2年    | 電気機械器<br>具製造業   | 感 電<br>原動機             | 発電機の性能検査を行っていた際、変圧器の1次側出力端子(18,000V、囲い未設置)に被災者が接触したため短絡が起こり、発生したアークにより全身に火傷を負った。29日後に死亡した。                                                          | ・充電露出部に、囲いを設けること。<br>・トランスの充電露出部付近の作業を行うときは、停電させて作業を行わせること。<br>・電気取扱い業務従事者に特別教育を行うこと。                                           |
| 14 | H16.11.16<br>(火)<br>1:50  | 運転者<br>男・50歳代<br>経験17年   | 一般貨物自<br>動車運送業  | 交通事故<br>トラック           | 国道を走行中、交差点で信号待ちをしていた大型トレーラーに、ノーブレーキで追突し、胸を強打し死亡した。                                                                                                  |                                                                                                                                 |
| 15 | H16.12.13<br>(月)<br>15:30 | 作業員<br>男・60歳代<br>経験30年   | 一般機械器<br>具製造業   | 飛来・落下<br>クレーン          | 鉄製架台(約2.2m、横6.7m、厚さ0.15m、重さ約1.6t)にアイボルトを組み込んで玉掛けをし、クレーンで吊上げようとしたところ、一方のアイボルトが破断して架台が倒れ、被災者が頭部を強打し、さらにその下敷きになった。そばにいた他の労働者も脛骨を骨折した。                  | ・玉掛用具は、荷に応じた能力を有する物を使用すること。<br>・アイボルトは、横方向に荷重が加わる横吊りで使用しないこと。<br>・玉掛けには技能講習修了者を、クレーン操作は特別教育修了等有資格者を就かせること。                      |
| 16 | H19.1. 10<br>(水)<br>8:40  | 荷役運搬者<br>男・50歳代<br>経験4年  | 自動車・付<br>属品製造業  | 崩 壊<br>荷               | フレコンバッグ(1袋約0.9t)を段重ねした作業場において、クラムシェルを移動させようとして下段側に接触、袋が破れたため上段のフレコンバッグが崩壊し、単独で補修作業をしていた被災者が下敷きになった。                                                 | ・フレコンバッグを平積みにする。こと。<br>・フレコンバッグが破損した場合の安全作業手順を定め、関係者に周知すること。                                                                    |

| 番号 | 発 生 時<br>日 時              | 職 種<br>性別・年齢<br>経験年数         | 事業の種類         | 事故の型<br>起因物      | 災害の概要と原因                                                                             | 対 策                                                     |
|----|---------------------------|------------------------------|---------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 17 | H19.1. 31<br>(水)<br>22:00 | 技術者<br>男・50歳代<br>経験32年       | 電気機械器<br>具製造業 | その他<br>起因物なし     | 出張先の宿泊施設において、布団に呼吸をしないで横たわっている被災者を同僚が発見して病院に搬送したが、急性心不全により死亡が確認された。過重労働による発症。        | ・過重労働に係る健康障害防止対策(時間外・休日労働の削減、健康診断の事後措置、医師の面接指導等)を講じること。 |
| 18 | H19.5. 17<br>(木)<br>15:55 | 集配員<br>女・30歳代<br>経験8月        | クリーニ<br>ング業   | 交通事故<br>乗用車      | クリーニングの集配作業のためワゴン車を運転し国道を走行中、運転操作を誤りセンターラインを越えてしまい、対向車(大型バス)に正面衝突した。                 |                                                         |
| 19 | H23.3.11<br>(金)<br>14:50  | その他の職<br>種<br>男・60歳代<br>経験2年 | 水産食料品<br>製造業  | その他(津<br>波)<br>海 | 福島県いわき市で、東北地方太平洋沖地震の発生に伴い、津波が懸念されたため、漁港から自家用車で非難する途中、家屋の火災発生による渋滞で立ち往生してしまい、津波にのまれた。 |                                                         |